

令和 4 年 (2022 年) 7 月 15 日

第 161 号

日歯連盟広報

編集・発行人 西澤 均
年 6 回発行 (奇数月の 15 日)
定価: 1 部 105 円・年間 630 円 (税・送料共)
購読料は日歯連盟会費に含む

発行: 日本歯科医師連盟 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20
TEL: 03-3262-8644 FAX: 03-3263-0345 E-mail: jdpcf@jdpcf.jp

日歯連盟ホームページ <https://www.jdpcf.jp/>



Pick Up!

都道府県から歯科医療を語る [第14回]



小見山 信
岡山県歯科医師連盟会長
× 加藤勝信
衆議院議員×
高橋日歯連盟会長 (2、3面に記事掲載)

第 3 回

政治セミナーを開催

日本歯科医師連盟主催

令和 4 年 5 月 19 日 (木) 午前 11 時より第 3 回政治セミナーがベルサール飯田橋駅前で開催され、「主張を実現させる組織になる」をコンセプトに各都道府県歯連盟の代表者が国民医療をより良い方向に導くための政治力を養った。演題と要旨は以下の通り。

参院選とその後の政局を読む

— 日本政治の舞台裏 —

政治ジャーナリスト 田崎史郎氏



田崎史郎氏

43年にわたり記者として日本の中枢を見つめている田崎氏は、過去の選挙結果を踏まえ125議席が改選される参院選の情勢を語った。最大の争点は、自公合



政治セミナー会場の様子

わけて過半数の63議席を獲得できるか否かであり、論点はコロナ/経済/安全保障への対応とし、野党第一党にどの党が収まるかにより、その後の国会運営が左右されると分析した。与党に対しては、「場合によって政権交代の火種になるのが参院選。勝てると思っても何が起るか分からないのが選挙」と警鐘を鳴らした。現下のウクライナ情勢から学ぶことは、「天

コロナ禍乗り越え、新たな時代に

衆議院議員 加藤勝信氏



加藤勝信氏

元内閣官房長官で二度厚生労働大臣を務めた加藤衆議院議員が、これからの医療のあるべき姿について講演された。

「歯科医師の皆様方のフクチン接種への協力のおかげで、昨年9月から感染者数が急激に減り、2回目、3回目接種も進んで、国民の皆様も社会経済活動ができるようになってきた」と感謝を述べられた。

診療報酬改定における金パラ価格決定のポイント

参議院議員 上月良祐氏

【上月議員は公務により出演が叶わず、解説動画をご用意いただいた】

「現状では医療現場のデジタル化が遅れている。まずはオンライン資格確認をネットワークのベースとし、すべての医療機関につなげていく。そのうえでカルテを電子化し、標準の電子カルテを政府が開発するとともに、診療報酬改定そのものを電子化していくことが必要である」との見解を示した。

政治セミナーで三度目の講演となる上月議員は、自身約二年間交渉を重ねて



上月良祐氏

きた金パラ問題の現時点での状況を含めた過程と結果についてポイントを絞って説明された。

「官僚との交渉では対話をして、協議をして、論理を持って、共感してもらう。

安倍政権が目指したものと今後の日本

元内閣総理大臣・衆議院議員 安倍晋三氏



安倍晋三氏

冒頭で、新型コロナウイルス感染症対策における歯科医師によるワクチン接種への協力に対するお礼が述べられた。平成24年12月の第二次安倍政権発足から始まった「アベノミクス」の三本柱は、①大胆な金融政策、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略であり、なかでも最も特徴的である日銀による異次元の金融政策により、GDPが大きく増加し、正社員の有効求人倍率もすべての都道府県で1倍以上に回復した。今後は「強い経済」「子育て支援」「社会保障」の充実へと形を変えつつ、さ

そのような姿勢が重要であり、ようやく現時点までに到達した」と述べた上で、「今年4月の診療報酬改定での金パラにおける材料価格調査の方法が見直されてほぼ正常化したとらえていい。それには日歯連盟が調査をした購入価格のデータが大きく影響した」との見解を示した。また臨時改定について、「あくまで日経平均を用いた機械的算定

であり、2年に1度の本改定の値が土台となる。この本改定は、診療報酬改定の前年9月の調査が重要なポイントとなるため、日歯連盟でも引き続き材料価格調査にご協力いただき、データをまとめてほしい」と重ねて強く訴えた。

最後に指導監査の問題点に触れ、今後の事についても対話をして解決していきたいとの意気込みを語った。

日歯連盟 参与会議開催

令和 4 年 5 月 25 日 (水)



日歯連盟参与会議

午後 2 時 30 分より日本歯科医師会館会議室にて第 2 回参与会議が開催された。この会議は本連盟執行部と参与である全国の歯学部・歯科大学同窓・校友会の代表者が出席し、席上さまざまな協議や意見交換が行われた。今回は 25 名の会長の出席が長もしくは副会長が出席した。高橋登会長は挨拶で「母校のない歯科医師は一人もいない。日本の医療を守るため、この国を守るために各同窓・校友会をあげてお力添えいただきたい」と訴えた。また日歯連盟顧問でもある山田宏参議院議員が出席し、国会報告、この6年間を振り返り今後の政策ビジョンなどを力強く語った。続いて浦田健二理事長からの諸報告の後、「次期参議院議員通常選挙の準備について」が協議された。参与からさまざまなご意見やご要望が出て大変有意義な会議となった。

参議院選挙が終わった。ウクライナ侵攻による国際情勢の大きな変化や新型コロナウイルス対応など、不安定な状況はしばらく続くだろう。未来を託された議員はこれまで培った知見を基に健やかな将来を明確に描き発信する力が求められる。参議院選挙の投票率はこの執筆時点ではわからないがどの位であったろうか。投票率は政治への関心や生活の満足度、反対に失望感などと共に選挙の厳しさを示す。当然、投票率が高いほど過酷な競争である。勝ち残った議員は自らの票数で期待の高さと課せられた責任を負うことになる。声高に理念や希望を謳うだけではなく政策にしなければならずこれが難しい。議院制民主主義は一見して数の論理とも思われるがそう単純ではない。他者の意見に耳を傾け、意見修正し合意を目指す熟議民主主義である。政策の実現までには課題や対策法、エビデンスを基に仲間を募り意見修正を重ねてからの数の論理であり、政策となっても優先度がある。決して専門的知識、明確なビジョンだけでは成立しないのである。議員には当選した安堵感は一日とし、課せられた重責に込められるべく邁進してもらいたい。また付託した我々にもそれを厳しく注視する責任がある。



広報委員 工藤 祐光

岡山県

都道府県から 歯科医療を語る



※撮影のためマスクを外しております

第14回

小見山 信

岡山県歯科医師連盟会長

加藤 勝信

衆議院議員 (岡山県第5区)

高橋 英登

日本歯科医師連盟会長

14回目の「都道府県から歯科医療を語る」は、岡山県歯科医師連盟の小見山信会長と岡山県5区選出の加藤勝信衆議院議員に、これからの歯科医療に関する政策のほか、今後の展望について日本歯科医師連盟の高橋英登会長を交えて話を伺った。(聞き手：近藤晴彦 日本歯科医師連盟広報委員長)

組織としては昨年7月、5期10年岡山県歯科医師連盟を盤石な体制にしていた西田宜可会長より引き継ぎ、理事17名を委任。総選挙が行われることは確定しております。

岡山県歯科医師連盟は昭和26年に岡山県歯科医師会という名称で発足しました。その後岡山県歯科医師政治連盟となり、平成6年に現在の名称に変更しています。現在会員は854名で組織率は83%ほどとなっております。全国平均は上回っているもの、もう一歩のところ。一度退会された方が戻っていただいたりしているのですが。

岡山県歯科医師連盟の活動内容
小見山信会長(以下、小見山)
先ずは岡山県として、加藤先生との対談をご調整賜り感謝申し上げます。新人会長として就任8か月目ですが、心細かったので2年間日歯連盟役員席の隣同士で理事を務めた近藤先生にご出陣願いました。よろしくお願いたします。

内閣府選出5選挙区それぞれに機動力のある常任理事へ就任をお願いしました。各候補事務所と連携を取りながら、コロナ禍にかかわらず県内19地区の地区訪問を8月末より開始しました。各地区理事会、総会等において連盟の周知活動を行ってまいります。そのいい流れを受けて11月末の山田宏登・タルミーティング津山・岡山を控え、多くの会員の皆さんに集まっていただきました。

県歯連盟と加藤議員の出会い
近藤 次は岡山県歯連盟との出会いや繋がりについて加藤議員にお聞きします。
加藤勝信議員(以下、加藤) 先ほど小見山会長からもお話がありましたように、選挙のたびに、歯科の先生方には大変お世話になっておりまして、地元で「勝歯会」という会をつくっていただきました。会長の桑木先生をはじめ、熱烈なご支援をいただいております。



また、そういう機会を通じて、実は...という話も色々お聞かせいただけると、公式の場では中々聞けない話もあるわけです。支援をしていただけるだけではなく、歯科の実情、あるいは歯科診療所に来られる患者さんの実情、そういうものを聞かせていただける大変ありがたいチャンネルだと思っています。

また、厚労大臣を経験された加藤議員に、これからの歯科医療のあり方についてお伺いします。
加藤 まず、歯科という80歳で20以上の自分の歯を保とうとする「8020運動」が思い浮かびます。現在、その達成率は全国で50%を超えたと聞きますが、岡山県の達成率はやや低いようですので、そこは頑張りたいと思います。

小見山 初耳で当惑しておりますが、帰りましたら早速県行政と擦り合わせをいたします(笑)。
加藤 それから、このコロナ禍で、歯科医師の皆さんにはPCR検査の鼻腔咽喉ぬぐいに関して協力してほしいということをお願いしました。続いてワクチン接種をお願いし、歯科医師会会員の皆さんには、非常に積極的に応援していただきました。また各地区の状況において、様々な方法でご協力をいただいたと思っております。改めてお礼を申し上げます。

また、歯科の現場でクラスター等が発生したという報告はありませぬよね。日頃より感染に関して気を配っていたらいい以外に、政府としても感染拡大防止として口腔外バキュームなどの医療機器の整備も支援させていただいた成果があったのでしょうか。国民にマスクの着用をお願いしているなか、マスクを外さない治療ができない歯科の先生方、また診療所スタッフの皆さんには、本当にご苦労をお掛けすると共に感謝しております。

先ほど8020のお話し(3面)続々

近藤 歯科との繋がりが深

また、8020のお話し(3面)続々

また、8020のお話し(3面)続々

また、8020のお話し(3面)続々

医歯薬出版 ● 出版案内 医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 https://www.ishiyaku.co.jp/

歯冠修復治療のテクニカルリクワイアメント

歯冠修復物製作のための新しい咬合理論FDOをふまえて

桑田 正博 著

歯冠修復物の外形基準、マージン部の形成と修復材料の構成、ワックスアップやセラミック築盛のテクニック、オリジナルの咬合理論など、著者がこれまで提唱してきた歯冠修復治療の「理論」と「実際」の集大成!

■A4判/256頁/カラー ■定価24,200円(本体22,000円+税10%)

歯科診療・口腔ケアにおける救急&アクシデント対応ハンドブック

森 悦秀 監修
山田 朋弘・大山 順子
熊丸 渉・杉山 悟郎
矢内 雄太・石井 広太郎 編集

「万が一」のために読んでおきたい、「万が一」のときに役立てたい歯科治療と口腔ケアを支える救急対応マニュアル!

■A5判/242頁/2色 ■定価7,150円(本体6,500円+税10%)

口にかかわるすべての人のための誤嚥性肺炎予防

米山 武義 編著

この本を手にして、誤嚥性肺炎の「予防」をはじめよう! 「口腔ケアと誤嚥性肺炎予防」の関係を世に知らしめた著者による、誤嚥性肺炎への理解とその予防のあり方について解説した一冊!

■B5判/144頁/2色 ■定価3,740円(本体3,400円+税10%)

（つづきの続き）
 をしましたが、皆さんのご努力で50%を超えるという大きな目標を達成し、更に高みを目指していくということだと思えます。一方、歯周病の罹患率はかなり高いです。手元の数字だと約7割の方が罹患されている。やはり歯科健診をしっかりやっていく必要性を感じます。歯科健診を中心とした歯科口腔保健の推進は5年間続けて骨太の方針にも明記されています。それから、歯科に限らず治療から予防、あるいは健康管理へと移ってきています。特に歯周病というのは基本的に予防ということになるのですが、予防という「良い話」という話が多いです。でも、どれくらい良いのかという話となるとなかなか伝えない。
小見山 歯周病の改善により糖尿病を筆頭に全身疾患のリスクが軽減することを我々歯科医師は実感として感じていますが、はっきりとした数値化、指標化というところ。
加藤 政策として進めるに当たってはエビデンスが必要となります。それで大規模実証実験をやろうじゃないかということ、現在、厚労省と経産省がヘルスケアも含めて進めています。その中の一つに歯周病予防に関する実証事業があり令和2年から進められています。
 こうしたエビデンスが出てくれば、それに則って様々な仕組みを構築し、皆さんと相談しながら進めたいと思っています。やはり歯と口腔の健康は全身の健康であり、歯を維持していくことが健康長寿に繋がっていること、それが国民には浸



岡山県歯科医師連盟 会長
 小見山 信

昭和36年7月19日生(60歳)

【略歴】

- 平成18年 岡山県歯科医師連盟理事
- 平成21年 社団法人 岡山県歯科医師会 代議員
- 平成23年 岡山県歯科医師連盟 常任理事
- 平成27年 岡山県歯科医師連盟 副理事長
- 平成29年 一般社団法人 倉敷歯科医師会 会長
- 令和元年 岡山県歯科医師連盟副会長
- 令和元年 日本歯科医師連盟理事
- 令和3年 一般社団法人 岡山県歯科医師会 副会長
- 岡山県歯科医師連盟 会長



自由民主党 衆議院議員
 加藤 勝信

昭和30年11月22日生(66歳)
 岡山県第5区(当選7回)

【略歴】

- 昭和54年3月 東京大学 卒業
- 同 4月 大蔵省 入省
- 平成6年4月 農林水産大臣秘書官
- 平成12年12月 川崎医療福祉大学客員教授
- 平成15年11月 衆議院議員初当選
- 平成24年12月 内閣官房副長官
- 平成26年5月 内閣官房内閣人事局長(兼務)
- 平成27年10月 一億総活躍、拉致問題、女性活躍担当大臣等
- 平成28年8月 一億総活躍、働き方改革、拉致問題担当大臣等
- 平成29年8月 厚生労働大臣、働き方改革担当大臣、拉致問題担当大臣
- 同 11月 厚生労働大臣、働き方改革担当大臣、拉致問題担当大臣 再任
- 平成30年10月 自由民主党総務会長
- 令和元年9月 厚生労働大臣、働き方改革担当大臣
- 令和2年9月 内閣官房長官、沖縄基地負担軽減、拉致問題担当大臣
- 令和3年10月 衆議院議員当選 連続当選7回当選
- 令和3年11月 自由民主党税制調査会小委員長、社会保障制度調査会長

透してきていますから。
近藤 小見山会長如何ですか。
小見山 市民、県民の皆さんにとどまらず、医療関係者全般にも歯科の重要性を理解していただくことにシフトしていくべきかと考えています。病院や介護業界の方々にはかなり理解が得られてきていますので、これからは医科の開業医の皆さんと、そこを支えておられる薬・看護の方々へのご理解が必須になってくるのではと思います。
 また、国会議員の先生方には高橋日歯連盟会長はじめ役員の方々が頑張って説明されているので、かなり浸透してきていますが、地方の首長さんや県議会議員、市議会議員にどこまで伝わっているかということになると、条例はあるけれども、

今後の展望

どという感じがあります。今後はそのようなアナウンスを拡散していくことが地方の連盟の仕事ではないかという気がしております。この度、充実していただいていた歯科医療拡充のための予算付けをうまく活用して歯科医療行政を推進するために積極的な策を練っていきたいと思いますので、加藤先生にも色々ご相談させていただきます。

依然として電話やFAXの世界からなかなか脱却できていなかった。途中でシステム化しても、後から追加するから追加入力しなければならぬ。当然ながら現場では入力するという作業を行っている余裕はない。結果的に後でまとめて出てくるので数字が把握できない。ということ、今進めようとしているのは、カルテの標準化を進めてもらいたい。個人データを作成すること。そうすれば当然より良い医療が提供できる。端的に言えば救急で運ばれた患者さんのデータは何もありませぬよ。その場で治療しなければならぬのに何も分からない。それが既往症などの個人データがあれば医師も安心して治療ができる。その辺りの改革を一生懸命取り組んでいきたいと考えています。

もう一つは、東日本大震災のときに被災者の特定に歯牙の情報が凄く役に立った。厚労大臣の仕事に戦没者の遺骨収集事業というのがありますが、体制の問題もありなかなか進まない。ところがアメリカは、あの時代においても歯科のデータを持っていったのです。だから突合することで直ぐに分かる。これは方が一の場合ですが、一度データ化すれば現場に負担を掛けない形で活用できる。今ある紙ベースを電子化することをIT化と言われていますが、これも大事なことです。

れにとどまらずITの世界に合わせ、今ある私たちの仕組みを変える、これがデジタル化ということなわけです。これを医療全般に進めていきたいのです。歯科医療を含めてより良い医療が届けられ、省力化できるところは省力化し、患者さん向き合う治療の時間やエネルギーを、しっかり確保していただくことが大事だと思います。

近藤 我々もそういうところを目標としてデジタル化に取り組みないといけないですね。
加藤 大事なことは国民患者、歯科医師を含む医療関係者、ベンダーをはじめ全ての関係者がデジタル化のメリットを理解し、実現に向けてのスケジュールを共有し、しっかりと仕事を組み上げていくことです。そのためには、政府においては、総理大臣をトップにした本部を作って推進していくことになっていきます。

小見山 本日のデジタル化への準備を進める意義を再確認しました。
加藤 最後は小見山会長から加藤議員への要望をお伺いします。
小見山 我々の業界として、需給問題の改善が急務と考えます。まず歯科医師の国家試験です。これからの歯科界を担ってくれるであろう世代が夢を持って生きて行くには、やはり資格試験に戻していただきたいと思っています。

今、介護の分野や病院などで歯科医療のニーズはかつてないくらい膨らんできています。今回の新型コロナウイルスでも、歯周病にかかっている人のほうが罹患率も重症化率も高いというデータがあります。コロナが落ち着いたとしても、今後も人類を襲ってくるであろう新規感染症とそれに伴う全身疾患の予防には、入り口である口腔の健康が必須であることは周知のとおりです。このような時代に歯科医師数が伸びず、また歯科衛生士や歯科技工士の早期離職や復職困難、場合によっては養成校の廃校や定員割れといった負のスパイラルに陥ってきています。特に技工士の方は深刻です。我々の働き掛けというか、アナウンスが足りない部分もあるとは思いますが、このままですと市民・県民の皆さんに国民皆保険制度の下での質の高い歯科医療を安んず提供することが困難になってしまいます。その辺りもしっかりとサポートしていただきたいと思います。



小見山会長(写真右端)、加藤衆議院議員(右から2番目)、高橋日歯連盟会長(写真左端)、近藤委員長(左から2番目)

本日は貴重なお話をありがとうございました。お身体には十分ご留意されご活躍ください。

好評のシリーズがさらに進化！ 今度は“開いていても閉じない卓上タイプ”でSRPと口腔内写真の基本を学びましょう！

スマホで学ぼう！

技術を習得したい新人歯科衛生士に
 復職を考えている歯科衛生士に
 歯科衛生学生のための教本として

DHのための実践BOOK

SRP&口腔内写真編

定価3,300円(本体3,000円+税10%) ※送料実費
 B5判 ● 卓上タイプ ● 50ページ ● フルカラー

監修 ● 松久保 隆 東京歯科大学 名誉教授
 執筆 ● 竹之内 茜 新宿医療専門学校 歯科衛生学科 専任講師
 大谷 悦世 新宿医療専門学校 歯科衛生学科 専任講師
 協力 ● 新宿医療専門学校

一世出版 TEL 161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22 TEL 03-3952-5141 FAX 03-5982-7751
 WEB http://www.issei-pub.co.jp

「歯科診療の補助コンプリートBOOK」
 ● 共同動作編Part 1 ● 共同動作編Part 2

どのシーンでも動画があるから、
 苦手な部位も修得しやすい！

お求めは書店・各材料店または直接弊社まで(送料実費)



比嘉なつみ

成すべく汗を流す

人として 歯科医師として 政治家として



久米島時代の筆者(右端)

卒業後、国家試験の結果を受け、沖縄の離島久米島にある先輩の診療所に勤務することを選択した。福岡歯科大学同窓の先生方数人が歩んだ道でありであった。沖縄本島から西に約100キロの島である。当時、プロペラ機で海の上を30分。エメラルドグリーンに彩えわたる美しい島である。

衛生士、技工士も本島からの派遣で、毎週一緒に月曜に飛んで土曜に帰るといった生活。診療所の2階に住む単身赴任の院長のもと、お手伝いさんが作る食事を昼も夜も皆でとる。また、自然を相手に、出勤前に蟹のワナを仕掛けて、夜は浜におりる。月夜の晩は遠くまで見えるのだが、月のない日は、手元も見えない。人工の灯りがないから、普通に流れ星を楽しめる。合宿のような日々であった。その島での生活が、政治の道へ進む原点なのかもしれない。

まず、定任条件の整備において医療の重要性を身をもって感じた。当時の久米島は、十分な救急医療提供ができるほど病院は充実しておらず、患者は船舶ヘリで本島へ搬送する必要があった。ある日、事故で重傷者が出たが、台風で搬送が叶わず死亡した例もあった。妊婦は臨月になると島を離れ本島で出産に臨む。

昭和の終わりのころ、久米島の人口は1万人を超えていた。我々は島内に2カ所だけの歯科診療所の両方で仕事をしていた。患者さんが島を出ない限りほとんどの症例が自分のところに返ってくるのである。

現在、久米島の人口は約7500人。全国的に出生率の高い沖縄県の中で、人口減少が進んでいる地域なのである。定住条件として大切な医療、福祉、教育、交通基盤等々の解決が政治家として成すべきことなのかもしれない。

【ついでに】

日本歯科医師議員連盟名簿

令和4年5月18日現在

Table with 4 columns: No., 氏名, 選挙区・政党, 衆・参議院. Lists members of the Japanese Dental Association Diet Members Association.

Table with 5 columns: No., 氏名, 都道府県, 市区名, 種別. Lists candidates for the 26th general election.



日本歯科医師議員連盟・日本歯科医師連盟合同会議



推薦状を関口議員より手交される山田議員(左写真)、菅泰晴市議より手交される関口議員(右写真)

本合同会議では、家田副理事長の司会進行のもと、村上副会長が座長として選出され、日本歯科医師議員連盟役員案及び第26回参議院議員通常選挙の準備について協議が行われた。また、第26回参議院議員通常選挙候補予定者への推薦について協議され、参議院比例代表候補予定者の山田宏参議院議員及び参議院埼玉選挙区候補予定者の関口昌一参議院議員へ推薦状が手交された。

令和4年5月18日(水)午後5時よりベルサール九段3階ホールにて、日本歯科医師議員連盟・日本歯科医師連盟合同会議が開催された。日本歯科医師議員連盟は歯科医師の国會議員および地方議員、首長により組織された議員連盟であり、日本歯科医師連盟との合同会議は実に6年ぶりの開催となった。

当日は国會議員から関口昌一参議院議員、島村大参議院議員、比嘉奈津美参議院議員、山田宏参議院議員、三ツ林裕巳衆議院議員、また全国の23名の都道府県議會議員、市長、市議會議員、区議會議員、町長、町議會議員、そして日本歯科医師連盟役員が出席した。

日本歯科医師議員連盟・日本歯科医師連盟 合同会議を6年ぶりに開催

ザ・選挙情報!

全国各地でさまざまな選挙が行われます。今後予定されている国政補欠選挙・都道府県首長選・都道府県議選・政令市長選(全国20市)の日程をご紹介します。いつ、どこで、どんな選挙が行われているのか? 連盟活動にぜひご活用ください!

Table with 3 columns: 投票日, 選挙名, 都道府県. Lists election dates and locations.



この度の第26回参議院議員通常選挙(令和4年7月10日執行)において、埼玉県選挙区・自民党候補者である関口昌一先生が5期目かつトップ当選を飾られました。関口昌一参議院議員には心よりお祝いを申し上げます。今後益々のご活躍とご健勝をお祈りすると共に、日本歯科医師連盟においても一層の連携強化に努めて参ります。

歯科医師国會議員 5期目当選!

Advertisement for Vitapex Solvent, a root canal filling material softener. Includes product images, text describing its benefits for root canal treatment, and contact information for Neoh Pharmaceutical Co., Ltd.